

京丹波 議会だより



京丹波町
KYOTAMBA TOWN

第17号
平成21年7月17日



みんな笑顔でプール開き（須知幼稚園）

6月 定例会

- 2p 和知診療所を老健施設に転換
- 3p 議員定数2人減の16人に
- 5p 「国道9号交通安全の改良整備は」など 9人が一般質問
- 14p 夏のボーナスを減額
- 16p 伝統芸能を継承

議会ホームページアクセス件数 495,545件 (H21.7.9 現在)

議会だより 京丹波 第17号 発行日 平成21年7月17日

発行／京都府京丹波町議会
〒622-0292 京都府船井郡京丹波町蒲生八ツ谷62番地
TEL. 0771-82-3805 FAX. 0771-82-2816

E-mail : gikai30@town.kyotamba.kyoto.jp
URL : http://www.town.kyotamba.kyoto.jp/gikai/



伝統芸能を継承

十倉 祐果さん（安栖里）
早川 真子さん（大迫）
片山 眞寿美さん（出野）
光枝 沙姫さん（大倉）

和知中学校では、総合的学習の時間に、和知人形浄瑠璃、和知太鼓、パソコン授業の取組みがされています。6月16日、和知人形浄瑠璃を学んでいる4人の3年生にインタビューをしました。

和知人形浄瑠璃は江戸時代から受け継がれ、現在、若いみなさんが演じています。

授業は火曜日（隔週）に1時間、保存会の8人の方に教えていただいています。人形浄瑠璃は、三味線と人形、語りの配役があり、十



和知人形浄瑠璃を学んでいる中学生のみなさん

倉さんと早川さんは三味線、片山さんと光枝さんが人形を担当しています。演目は、和知地区に伝わる直訴事件を扱った『長老越節義之誉』で、習い始めて2年余り、「急ぎ行く冬夜の〜」と浄瑠璃の1節が口々にできます。三味線は楽しいですが、続いて引くこ

は難しいです。また、人形は、一人で操らなければいけないので難しいとお話でした。左手で顔・目・首など頭全体を支え、右手で手先を動かすのだから、「この場面が好き」と独特の手首の振りをしてくれました。発表の場は文化祭や人形浄瑠璃の交流会もあり、早川さんは1昨年、南あわじ市の南淡中学校での交流会に参加されました。皆さんにエールを送り、インタビューを終えました。

編集後記

労働時間の短縮や賃金カット、退職勧奨など本町でも不況の影響がでています。国の経済危機対策として、臨時交付金が配分されますが、地域の活性化につながる施策が求められます。議会だより17号は、紙面に余白を増やしました。感想をお寄せください。届きましたご意見は委員会で検討していきます。(H・M)

議会の傍聴におこしく下さい!

次回の議会日程は下記のとおりです。

9月定例会
9月3日(木)
午前9時から

傍聴の手続きは簡単ですので、皆さんお気軽に傍聴におこしく下さい。(受付簿に住所・氏名を記入するだけです) 一般質問や委員会日程などの詳しい内容は8月下旬の議会運営委員会で決定されます。

お問い合わせ
議会事務局 TEL 82-3805
FAX 82-2816

和知診療所 10月から 19床すべてを 介護療養型老健施設に転換

21年第2回定例会は、6月8日から18日までの11日間の会期で開催されました。
本定例会には、条例の制定・改正、補正予算、工事請負契約など、13議案が提案され12議案を可決し、1議案を否決しました。
一般質問には9人の議員が立ち、38項目について執行部の所見を求め、疑義をただしました。

条例の制定・改正

介護療養型老人保健施設条例の制定

和知診療所の運営体制を見直し、19床の療養病床全てを、10月1日から介護療養型老人保健施設に転換・開設するもの。

施設の定員は、入所（短期入所含む）19人、通所10人で、通所リハビリテーションや介護保健施設サービスなどの事業を行う。
転換理由は、常勤医師2名の確保ができず、病床維持が困難となり、経営面からも病床運営を見直すこととなった。
〔賛成10 反対4〕

問 4月からの一般病床の休止や夜間等救急受入れの中止で問題は起きていないか。
課長 2ヶ月間でオンラインは11件、京丹波町病院へ1件の搬送があった。救急対応のトラブルなどは起きていない。

問 常勤医師1名体制で運営するデメリットをどのように考えているのか。
町長 夜間の対応は確実に落ちていくと思うが、不安を解消しながら進めていく以外に道はない。



安心医療が求められる和知診療所

京都地方税機構の設置

地方税・国保税の滞納整理事務及び課税事務を共同で処理するため、京都府及び京都市を除く25市町村で、「京都地方税機構」を設置するもの。

公平公正で効率的な税務行政の確立を目標に、自主財源の確保、地方分権の推進に向けた税務執行体制の構築を行うもので、広域連合に移管されても、なら変わるものでない。
〔賛成10 反対4〕

問 全国的にどれぐらの数が、税の共同化に取り組んでいるのか。
課長 静岡、愛媛、和歌山、三重に4つの滞納整理機構が設置されている。

問 滞納者の事情に即応した滞納整理、徴収行政が行われるのか。
町長 滞納整理業務のあり方は、何ら基本的

に変わるものではなく、強行的にやろうとして機構を設立しようとしているのではない。
問 滞納整理の対象は、納期限を一定経過した未納案件ということであるが、分割納付しているものも全て移管するのか。
課長 基本的には全ての滞納案件を移管するが、現在分納中の口座振替分は除くことになっており、今後詳細につき整理が行われる。

梅田財産区土地管理・使用料条例の改正
第2種財産の貸付期間等は、賃貸借契約により貸付、使用料は1鈔年額1千円とするもの。陰伐は、農地以外は認めていなかったが、宅地やそれ以外も日なた6m以内、日陰13m以内で行える。ただし、農地又は宅地以外に接続する場合は、土地所有者の承諾が必要となる。
〔全員賛成〕

議員定数2人減の16人に 次の選挙から適用

議員定数を2人減らし、16人とする条例が議員提案され可決した。今秋の一般選挙から適用される。

議員定数については、昨年12月に委員会を設置し検討を重ね、一定の結論を得たことから（下段報告）減数するもので、その主な理由としては、現在3人の欠員があり、15人で運営されていることや、議員自ら痛みを伴う改革を行うことで、より一層住民に行財政改革への理解を求めるため。
〔賛成9 反対5〕

反対 山内 武夫議員

町域の均衡ある発展や、住民の声が届かなくなつたと言われる今こそ、身近な議員の役割が極めて重要で、現状を維持すべきであり、削減に反対する。

賛成 横山 勲議員

行政改革大綱を定め、効率的な組織体制の確立や経常経費の削減などの歳出対策を現在も推し進めており、2人減の16人とすることに賛成する。

反対 坂本美智代議員

協働のまちづくりを進めていく上にも、住民の声をしっかりと聞いて、まちづくりに反映させるために、現状の定数を減らすことに反対する。

賛成 西山 和樹議員

衆議院などでも減員をしようという時期であり、18人が16人になって問題が生じるとは一切考えられないので、議員定数の減数に賛成する。

反対 山田 均議員

議員定数を減らすことが改革ではなく、議員活動を活発にすることが改革である。議会や議員の役割を十分果たすためにも、定数を減らすことに反対する。

賛成 野間 和幸議員

現実15人で今日まで議会運営が行われてきた。今後も現状で十分に対応できると確信しているが、16人を是とする検討委員会中間報告を尊重し賛成する。

議員定数等検討委員会 〈中間報告〉

議会の活性化や、住民の意思を行政に反映するための議員定数等について調査・検討を進めてきた。
現状の18人が適当という意見と減数すべきという意見があり、意見の一致は見られなかった。

◆現状の18人が適当とする意見
①旧町間の均衡ある発展、協働のまちづくりを目指し、もう1期は18人とすべきである。
②議会・議員の役割を十分果たすためにも18人が妥当である。
③少しでも多くの住民意見を聞くためにも18人は決して多い人数ではなく現状で良い。

◆減数すべきであるとする意見
①2年目に2人の欠員が生じ、実質16人で議会運営をしてきたという事実があり、14人から16人で運営可能である。
②行財政改革の必要性から、議員自らも最低2人減を示すと共に人件費を抑制する必要がある。
③近隣市町村の状況は減数の方向であり、町民の意向を反映して定数を減らすべきである。

幹事会7回、特別委員会3回の開催により、ほぼ意見も出尽くし、「現状どおり定数を18人」という意見と「定数を減らし16人」という意見に集約した。
第4回特別委員会で採決の結果、賛成多数で「議員定数を16人とする」という特別委員会の検討結果として結論付けした。

一般質問 **ココが聞きたい**



横山 勲 議員

国道9号交通安全の改良整備は

町長 本年度中に現地踏査が

問 町より陳情書も出され、国交省による一定の説明会も開催された。また、具体的に観音峠下については、地元で概略図面を示し説明すると委員会でも答弁がされたが、その後の取り組みはどうか。

町長 国道事務所などと、経緯、経過記録など確認中。本年度中に現地踏査を再度実施し、整備の有無について、回答をしたいというのが国道事務所の回答。町としても要望を強めていきたい。

府道の改修は

問 大河内口八田線は、21年度に避難帯工事を実施すると聞いているがどうか。

町長 高圧線の地益権問題があり、解決ができていない着工の予定。本線は広域農道としての計画路線、中山峠の改修整備の見直し。

問 町より陳情書も出され、国交省による一定の説明会も開催された。また、具体的に観音峠下については、地元で概略図面を示し説明すると委員会でも答弁がされたが、その後の取り組みはどうか。

町長 京都府を通じ要請するところまでしか現在は考えていない。

問 篠山京丹波線の用地買収済み区間は、本年度工事と聞かれます。

町長 1.5車線化として実施される。舗装は含まれていない。

問 全線の完成見込みと、期成同盟の取り組みは。

町長 事業化は全く想定できず、計画もされていない状況。今後、目的に沿った活動が展開できるように取り組みたい。

問 債務負担行為の軽減にもかかる竹野小付近の道路改良の考えは。

町長 道路の整備促進として土地を取得した。一定時間がかかるが府に要望を続けて行く状況を維持したい。

問 左折が困難な丹波水戸交差点の改良は。

町長 国道の停止線を



整備が求められる町道(西階地内)

町道の改修は

1m前後バックできないか協議をしている。

問 菅尾中央線の24年度完成はできるのか。

町長 完成予定で進めている。

問 西階中央線は本年度の完成と聞かれます。

町長 来年1月末の完成予定。

問 〇八田中畑線の改修の計画は。

町長 過疎計画の路線で、住民のご意見、協力体制など確認し検討を進めたい。

問 蒲生西階線の24年度は9月施工と聞かれます。

町長 計画はしていないが、歩行者の安全対策の整備を検討したい。

請負契約 和知中学校 耐震補強工事

契約金額1億8千88万4500円で、今藤・樹山特定建設工事共同企業体と契約を締結するもので、工期は平成22年1月20日。
〔全員賛成〕

補正予算

一般会計では、1020万円を追加補正するもので、予算の内容は、老人保健施設の開設備経費に390万円、畜産飼料作物用機械の導入補助金として

主な質疑

630万円を計上。また、松山財産区特別会計では、財産区有地の土地売却収入と松林新植作業委託料を計上するもので、全議案を可決した。

一般会計

問 今回、丹波ユーキが畜産飼料用機械を補助金で導入されたが、今後飼料稲の栽培に取り組むのであれば、農業公社などで運営することも大事と考えるが検討されたのか。

課長 丹波ふるさと公社とのオペレーター委託も検討されており、事業連携をされるようである。

問 町が土地の有効利用などで飼料稲を推進し、将来的に規模拡大を考えるとすれば、農業公社が機械を活用することも重要と考えるが、どのように考えているのか。

松山財産区 特別会計

課長 今回は耕畜連携を進めているが、今後農業公社との連携も必要と考える。

問 直営林の松林新植作業の内容はどのようなものか。

支所長 京都府林業試験場が抵抗性赤松を植栽する計画であり、面積は5千㎡と聞いている。

請願

納税緩和措置の積極的活用と「京都地方税機構」への拙速な議決ではなく充分な説明・審議を求める請願

船井北桑田民主商工会長から提出された請願

決議

願は、審査の結果不採択となった。
〔賛成4 反対10〕

北朝鮮の核実験に 断固抗議する

北朝鮮が地下核実験や日本海上にミサイルを発射するなど、無謀な実験を繰り返していることは、わが国のみならず国際社会の平和と安全に著しく脅威を与えるもので、世界平和を願う人々に対する挑戦的行為である。京丹波町議会として、町民の生命と生活の安心・安全を守る立場から、厳重に抗議するとともに、すべての核兵器と既存の核計画を放棄することを強く求める。
〔全員賛成〕

各議員の賛否

平成21年6月定例会

議案10、請願1、発議2の審議結果です。賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案は全会一致で賛成しました。

審議結果	議員名	坂本美智代	山内 武夫	畠中 勉	今西 孝司	東 まさ子	小田 耕治	横山 勲	西山 和樹	山田 均	室田隆一郎	篠塚信太郎	吉田 忍	野口 久之	野間 和幸	岡本勇(議長)
可	介護療養型老人保健施設条例の制定	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-
可	診療所及び歯科診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-
可	京都地方税機構の設置について	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-
否	「京都地方税機構」への拙速な議決ではなく充分な説明・審議を求める請願	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	-
可	議員定数条例の制定	×	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-

議長は採決に加わらない、同数の場合は議長採決。○は賛成、×は反対、欠は欠席、退は退席。



室田隆一郎 議員

町長の公約実現は

町長 全てを成し得なかったが、今その途上に



獣害防止ネットの設置(瑞穂地区)

問 4年前の町長の選挙公約に、地域の均衡ある発展や情報網の全町整備、医療の整備などを主に提唱されたが、4年間を振り返られ、町長自身が検証された思いを聞く。

町長 小規模合併を選択してきた背景には、お互いの息づかいの感じられる格差のない一体感のある町づくり、行政と住民の役割の検証を行いながら公約実現に努力してきた。全てを成し得なかったがその途上にある。更に緊縮財政を実施して町政充実に努力したい。

農家資格面積の見直しは

問 耕作放棄地は全国で広がっている。放棄地の増加を食い止める。

町長 本町の農用地1400haのうち、耕作放棄地は約18ha、直ちに耕作可能農地約3.8ha、復元不可能農地9.6haである。下限面積を引下げるのはいろいろと功罪があり、本年度に農業委員会でも慎重に議論をしていた。一定の方向性を出していただきたい。

獣害の抜本的対策は

問 現在、野生獣の生息分布が拡大し、作物の選別による対策は不可能。その背景には里山の荒廃や耕作放棄地の増加、狩猟者の減少など考えられるが、増加の最大の原因は何か。また、獣類の餌である広葉樹の若芽の発生を

町長 人件費の抑制や公共料金、国保税の値上げなど避けて通れないが、とりわけ土地開発公社の借入金処理の問題が、今後の大きな取り組み課題となる。

財政健全化法の 本町の取り組みは

問 3年前の夕張ショックを教訓に財政健全化法が制定され、いよいよ20年度決算から公表の義務や制度の義務付けが実施される。今後の取り組みの重点対策は何か。

町長 促す里地、里山の整備が必要と思うがどうか。

町長 獣害増加原因の一つにはゴルフ場開発が要因といわれている。里山整備も試みの段階で、特定の地域で実施しているが、効果が認められれば拡大していきたい。

町営バスの料金値下げを行うべきでは



今西孝司 議員

町長 秋ごろ料金半額にして実験する

問 思いやりのある町政が行われているのか。①後期高齢者医療制度の見直しを国に意見具申をすべきではないか。②地域間格差の解消に向け取り組まれているのか。③和知診療所の一般病床廃止は、町民の命を軽く見ているのではないか。④国民健康保険税の値上げの影響はどうか。⑤耐震住宅助成制度は、府下10市2町で行われているが本町の取り組みは。⑥瑞穂地区CATV未加入の家庭も、加入金を1万円にしては。

町長 ①町村会で万全の措置を要望しており、国の制度の見直しの検討を見守りたい。②町営バスの料金は、秋ごろ社会的実験として、1ヶ月間半額として実施をしたい。乗客数などが回復すれば、年間を通じて値下げを行いたい。③全国的な医師不足のおり、医師の2名体制を維持できず、こうした体制を取らざるを得なかった。④7月の賦課分からということであり、まだわからない。⑤今後の努力課題と受け止めている。⑥瑞穂地区は、今回の交付金対象でないために8万円とさせていた。

北朝鮮への抗議は

問 北朝鮮のミサイル核実験に対し、町独自で抗議表明をすべきではないか。

町長 5月25日に町村会と議長の連名で抗議の声明を発表した。

下山バイパスの騒音対策は



遮音壁の設置が望まれる下山バイパス

問 上下線ともに上り坂になっている。グリーンハイツ、下

新田に遮音壁は設置されないのか。

町長 国土交通省に確認したところ、環境基準を満たしているため問題はないとのことである。

問 富田地内の道路改修が遅れているがどうか。また、国道27号から下山駅間の京丹波三和線は大変危険、改修を急ぐべきだが。

町長 富田地内において、20年度に2000mの舗装修繕を行った。京丹波三和線は、質美地内が終われば下山部が事業化される。



篠塚信太郎 議員

蒲生野、瑞穂中学校の給食実施時期は

教育長 平成25年を目途に取り組む

問 蒲生野、瑞穂中学校の給食については、前教育長が瑞穂地区の小学校の整備を契機として、総合的な給食体制を構築したいと答弁しているが、どのような検討がされているのか。

教育長 中学校の給食実施時期などについて検討してきた結果、小学校統合時期の23年度からの実施は困難、25年度を目途に施設整備など取り組みたい。

電気軽自動車税の免除を

問 走行中に二酸化炭素を排出しないクリーンな電気軽自動車の普及促進を図るため、22年度から26年度までの5年間、軽自動車税を免除する考えはないか。

町長 環境に優しい地域づくりに寄与する観点からも、全額免除措置を22年度から5年間程度実施する方向で検

討したい。

小・中学校に太陽光発電システム設置を

問 地球温暖化対策などの環境教育は必要不可欠であり、使用電力の削減及び災害時の停電に備えることができるところから設置する考えはないか。

教育長 瑞穂地区の統合小学校に先行的に太陽光発電システムを導入する方向で検討している。ほかの学校については導入効果も十分検証した上で、今後の検討課題としたい。

旧瑞穂病院の管理と建物取り壊しを

問 現状は草、植木が伸び放題で蒿も上り、隣接の住宅に大変迷惑をかけている。草刈、植木の剪定を行い、使用不可能な建物は取り壊す考えはないか。

町長 周辺の環境面や教育環境にも好ましく



蒿が上り廃墟と化した旧瑞穂病院

ない状況であり、総体的には取り壊しをする中で、統合校の駐車場の確保などの活用に向け、危険な状態の部分から整理をしたい。

問 町営バスの高齢者割引バスの助成事業を。

町長 社会的実験で料金を下げて検討したい。

問 公用車を工口カーに買換えを。

町長 低燃費・低公害車の導入を検討したい。

生活実態に合ったバス運行を



坂本美智代 議員

町長 最小の経費で最大の努力をしている



狭く見通しの悪い府道(下山地内)

問 高齢社会が予測されるなか、全国的に高齢者による交通事故が増えている。しかし、危なくとも車がないと日常生活ができない住民にとって、安心して暮らせる地域づくりには公共交通機関の充実が必要である。住民の足をどう確保するのか。

町長 最小の経費で最大の効果を上げる努力

をしており、理解願いたい。

問 クラブ活動や町内でのイベントなどに参加するためにも、町営バスの土曜運行が望まれるがどうか。

町長 考えていない。

教育費の負担軽減を

問 本町では育英基金条例が設置されている

が、育英生の資格を得るには一定の要件が必要である。今、100年に一度といわれる不況のなか、要件の見直しなど利用しやすくする必要があると考えられるがどうか。

教育長 在住条件等の見直しを検討していきたい。

問 家計に占める教育費の負担は大きい。負担軽減として、中・高校生への通学費補助の考えは。また、小学生へのバス料金は無料にすべきではないか。

教育長 町補助は困難である。

問 町内3ヶ所での学童保育の施設条件が異なり、施設整備に一定の期間が要すると答弁されたが、検討はされたのか。

教育長 少しずつ具体化している。

母子加算の復活を

問 4月から生活保護の母子加算が全廃した。本町では対象世帯はあるのか。また、国に対し母子加算復活の声を上げていくべきではないか。

町長 実態を踏まえた制度となるよう府を通じ国へ働きかけたい。

府道の拡幅について

問 下山知野辺のバス停から質美方面に向け2ヶ所が極端に狭い。自転車の通学路でもあり見通しも悪く大変危険である。府への要請などを町として積極的に取り組むべきではないか。

町長 5年間の計画で進めている。



西山和樹 議員

防災マップの浸水地域に誤りがあるが

町長 精度が低い点は認める



16年23号台風で床下浸水のあった梅田振興センター

問 防災マップ作成はこの発案で、費用と負担割合はどうか。
町長 水防法の改正により市町村に作成配布が義務づけられた。総費用は約630万円で、その内、国、府が400万円を、町負担は230万円である。
問 防災マップの浸水被害地の記載に大きな間違いがあるがなぜか。

費用対効果に疑問を感じるがどうか。
町長 コンサルタント会社に委託したものであり、その精度においては疑問点もあり、素直に認めなければならぬと思っている。今後は精度を高めるよう進めていきたい。

鳥獣保護区指定について

問 26年度まで八田、大朴、中台区の保護区に、特別に保護されるべき鳥獣は生息しているのか。
町長 希少動物は生息していない。

町長就任後3年半の町政執行について

問 町政執行者として、完結したかったができなかったことは何か。
町長 鳥インフルエンザ発生跡地の利活用について、議論が合み合わず白紙撤回したこと。
問 任期中に道筋を建てておきたい事は何か。
町長 和知診療所の介護療養型老健施設への転換について予定通りやり遂げたい。

問 国、府より特別の補助金などが支出されているのか。また、防護施設の補修や増設について考慮されるのか。
町長 特別保護区には野生鳥獣被害総合対策事業に一部を限度に加算して補助している。増設部分については事業内容に応じ検討したい。

問 猪は販売もできるが、鹿は全く価値が認められず、捕獲費用がかさむだけ。猪の補助金を鹿の捕獲費に振り替えても生息数を減らす必要もあるのではないか。
町長 これは検討して

町長 副町長などの水道汚職事件と、和知地区の水道条例の不備で大変ご迷惑をかけた事であり、反省とお詫びをしたい。

行政区と連携で地域の声の提案を



野間和幸 議員

町長 23地区から50件の要望が

問 府は、府民公募型の新しい事業手法を導入し、地域課題に取り組んでいる。町もこれまで以上に府施設の改善に向け各行政区との連携のなかで地元の声を提案していくことが求められている。どのような取り組みをするのか。また、個人の提案を町として把握できるのか。さらに、住民との信頼関係に問題はないのか。
町長 この機会に今まで、なし得なかったものを含め、全区長さんに提案いただくよう照会し、小規模修繕などを23地区から50件の要望が出ている。11月には、大規模修繕の要望を府に提案したい。要望事項の審査に町の意見も反映できるので、今日までの地域・町・府で積み上げたものを無視することにはならない。

木材利用の提案を

問 林業試験場が地元区長会の積極的な取り組みにより、本年4月より森林技術センターとして存続することになった。施設が有効に活用されるためには、町として積極的に木材利用の提案をすることにも、府との連携を強め林業振興に取り組みべきではないか。
町長 住民の思いが森林技術センターとして維持されることに繋がった。農産物だけでなく森林にも大きな被害が出ており、有害獣の被害防止の研究を申し込んでいく。また、今後も町と住民が積極的なかわりを持つていくことも大切と考える。

町長選への意欲は

問 財政再建を大命題に取り組み、厳しい舵



府民公募型事業で浚渫が待たれる砂防ダム(升谷地内)

取りをしてきたことで将来に少し明るさが見えてきたと感じている。任期満了を目前にして、出処進退を明らかにするのにも町長としての責任と思うが、現在の心境は。
町長 財政が健全でなければどのような理想や提案も実現できない。住民にづらい思いをさせたことは申し訳ない

と想っている。限られた財源を将来のために確保することが初代町長の役割と考え取り組んできた。多くの意見を聞きながら最終決断をしていく。



山田 均 議員

一般病床を4床でも確保すべき

町長 医師確保が優先課題

問 和知診療所の運営見直しにより、4月から一般病床の休床や時間外・休診日などの救急診察が廃止され、周辺地域では不安が広がっている。

美山診療所では、4床は一般病床として残り、地域住民の協力と理解で運営されているが、和知診療所も一般病床を4床でも確保すべきではないか。高齢化が進む地域で、どう支援していくのかが問われるがどうか。

町長 診療所としての役割を担って行くことが大切であり、美山診療所と同じ考えはできない。医師の確保は容易ではなく、病院も含め、どう現状維持をしていくかが課題である。

水道料金体系はいつ明かされるのか

問 水道料金は22年度から、下水道料金は23年度から統一すること

が示された。住民の合意、納得が最優先と考えるが、いつの時点で明らかにされるのか。

町長 昨年の町政懇談会で考え方を説明した。和知地区では2670円まで引き上げとなるが、一定配慮をしなければならない。基本料金給水について、9月議会で条例の改正案を提案し、22年4月1日施行で考えている。

問 鹿・猪・猿の被害は年々広がり、生産意欲を失わせている。駆除班を設置して個体数を減らすことが必要、猟期でも鹿などは助成金を出して駆除すべきであるがどうか。

町長 猟友会員の高齢化などもあり、駆除班・捕獲班など専門のチームを作ることや、広域的な取り組みなどに十



一般病床が確保されている美山診療所(南丹市)

中小零細業者への仕事確保を

問 交付金や職員の期末手当カットの財源を町内業者の仕事おこしや、仕事確保にも活用すべき。

耐震助成や住宅リフォーム助成制度、小規模工事契約希望登録制

分意見を聞き、取り組みたい。

町長 今は考えていない。入札参加登録業者を基本に発注している。

税務事業の共同化で差し押さえが強化されないか



東 まさ子 議員

町長 機械的に強制徴収処分するものではない



安全対策が求められる府道(口八田地内)

問 府と市町村で広域連合を設置して、府税・町税・国保税の滞納整理を行うとしている。滞納者への徴収強化により、ほかでは悲惨な事件も起きているが問題はなにか。

町長 滞納整理は機械的に強制徴収処分をするものではない。納税義務の履行を前提にしつつも納税の猶予措置

の対応もある。

臨時交付金の活用で地域経済の活性化を

問 事業所実態調査の状況はどうか。

課長 55事業所のうち業績下降が45事業所、そのうち21事業所が時間短縮や賃金カット、退職勧奨を行い、11事業所で人員削減があった。

問 町道蒲生西階線は近畿シコー地点までは側溝のふた、路側帯の整備を行うとの答弁があったが、住宅地点まで整備を。

町長 順次整備したい。

問 府道篠山京丹波線と町道笹尾中央線との交差点に、横断歩道や停止線などの安全対策を。

町長 区長さんより要望されており、府民公募型公共事業として提案したい。

問 学校の和式トイレの洋式化や蒲生中・竹野小プールのトイレ改修は長い間の要望であり抜本的改修を。

教育長 順次、状況を見極め改善していきたい。竹野小は新しい仮設トイレを設置する。

国保税の引き下げを

問 払える国保税に。

町長 基金が減り、保険税を上げないと制度

が成り立たない。今年度に続き来年度も値上げせざるを得ない状況が続いている。まずは安心して医療が受けられる制度を守っていかねばならない。

問 町が実施している子どもの医療費無料化に対し、国が補助金を減額しており、保険税に上乗せされている。減額は繰入れすべき。

町長 本来は、減額されるべきではないと思っ

獣害防止を

問 鹿が増えて困っている。駆除員を増やさないか。

町長 20年度から狩猟免許取得に助成し、駆除員の確保に努力している。

課長 猟期以外は、期間と捕獲数を定め捕獲してもらっている。

第1回臨時議会

(4月28日開催)

保育所建築 予定地の買い戻し

土地開発公社により先行取得されていた土地を瑞穂地区内の保育所用地として、9213㎡を1億6161万7294円で買い戻すもの。

〔賛成11 反対3〕

反対討論 山田 均議員

災害に対する被害想定は30〜50年確率のような責任のもてる造成をすべきであり反対。

賛成討論 横山 勲議員

児童福祉施設として取得されたものであり、速やかに買戻しされることを期待し賛成。

問 保育所予定地は、23号台風で河川が決壊するなど浸水被害が出たが、子どもの保育場所として安全と考えているのか。
町長 関係者で検討されたが、旧町時代から予定地として提案されており、適当と判断された。浸水対策も河川の改修も進められており安全と考える。



保育所予定地(和田地内)

一般会計補正予算

緊急雇用 に 1630万円

緊急雇用対策として府からの補助金1630万円が交付された。事業内容は、障害者地域就労促進(社協委託)・地域交流推進(自然公園委託)と耕作放棄地管理データ作成(直接雇用)など13人の雇用を図るもの。
〔全員賛成〕

第2回臨時議会

(5月29日開催)

発議第1号 議員のボーナスを減額

人事院勧告の趣旨に基づき、理事者と同じ率で減額するもの。

総額56万9250円。

〔全員賛成〕

夏のボーナス 1804万円余を減額

昨年来の経済不況から支給額に民間との格差が広がった。人事院勧告に準じ理事者・職員ともに夏のボーナスを減額するもの。
〔全員賛成〕

〔全員賛成〕

問 減額された期末手当を有効に使うことが必要と思うが。

町長 十分精査して町民の福祉向上に努めた。

契約

パソコン202台を 6073万円余で購入

丹波・和知地区の小・中学校に教育用パソコンを購入するもの。
〔全員賛成〕

バス2台を更新

臨時交付金を活用し、中型ワンステップバス2台を3189万4800円で更新するもの。
〔全員賛成〕



幼稚園児も利用する町営バス

問 通常リース契約が多いと思うが、購入契約のメリットはあるのか。

教育次長 リース契約も検討したが、臨時交付金を財源にして今回の契約となった。

問 更新時期が早いのではないのか。

課長 バスは5年で更新が認められているが、今回は10年以上経過している。

管外視察報告

議会広報特別委員会では5月12日〜13日の二日間、町村議会広報全国コンクールで入賞された、石川県志賀町・津幡町に視察研修を行った。

志賀町

議会広報委員会が主体の議会だよりではなく、事務局の係わりが大きく、写真も用意するとのことである。本来の議会活動から逸脱しているのではないかと疑問が残る。

委員の任期は2年間で、全ての委員が編成替えになった場合などを考えると、事務局の役割も必要かと感じた。重点事項を始め、審議経過、請願、陳情、

津幡町

議会傍聴記、直撃インタビューなどわかりやすい議員活動、専門用語、議会の報告など参考となった。

議会終了後の発刊の早さ(発行日は定例会開催の翌月の5日と、12月定例会は1月1日発行)余裕のある紙面に陳情・請願・意見書の取扱、表情豊かな写真の採用などが参考になった。

常任委員会報告

産業建設 常任委員会

林道峰線22年度の 供用開始を予定

和知地区の才原〜奥山無線基地までの間7.5kmを結ぶ森林管理道峰線は、13年に着手して以来、本年度末まで96%完成見込みとなり、22年度に316mを残すのみとなった。

この森林管理道は森林の保全を目的として13年に事業採択を受け総事業費は8億円である。起点から4879mは、幅員4m、残りは3.5mとして工事が進められている。

広域農道、本年度末 には工事完了

中山間農地が広域的に点在する地域の、農畜産物流通の迅速化を図ることを目的として、農業用道路整備が、瑞穂地区の東又〜丹波地区の高岡間7.6kmを3工事区として、総工事費は38億円で、森林総合研究所(旧緑資源公団)が事業主体となり工事が進められている。本年度中に工事完了する見通しである。



工事概況の説明を受ける(林道峰線)



完成まじかな広域農道(高岡地内)



津幡町での研修